



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月8日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名
 コード番号 7975 URL <https://www.lihit-lab.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)早川 大介 (TEL)06(6946)2558
 四半期報告書提出予定日 2021年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	4,595	4.8	276	7.4	305	23.8	198	14.5
2021年2月期第2四半期	4,386	△13.9	257	△3.1	247	1.0	173	6.3

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 377百万円(284.1%) 2021年2月期第2四半期 98百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	116.93	—
2021年2月期第2四半期	102.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	13,091	9,916	75.8
2021年2月期	12,866	9,624	74.8

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 9,916百万円 2021年2月期 9,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	5.1	520	4.1	520	3.0	360	2.0	212.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期2Q	1,907,850株	2021年2月期	1,907,850株
2022年2月期2Q	211,106株	2021年2月期	211,039株
2022年2月期2Q	1,696,777株	2021年2月期2Q	1,696,848株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)における我が国経済は、度重なる緊急事態宣言の発出が重石となり個人消費は一進一退の状況が続いているものの、海外経済の回復に伴う輸出の増加を背景として、企業業績は改善傾向にあり設備投資意欲も強まっていることから、国内景気は緩やかに持ち直しつつあると思われまます。但し、国内外でデルタ株等の変異ウイルス拡大が懸念されており、期待されたワクチン接種の進展による消費回復には遅れが生じることも予想されます。

当業界におきましては、テレワークの普及で企業の職場環境が大きく変化している一方で、個人の生活様式もウィズコロナを前提に制限されたものとなっていることから、顧客ニーズはデザイン性の優れた製品から実用性・安全性・機能性の高い製品へと移りつつあり、従来型の事務用品の枠を超えた多様な製品構成が求められる状況にあります。また、販売チャネルについても外出自粛が続く中、ECマーケットへのシフトが一段と進むとともに、店頭販売も専門店からスーパー・コンビニ・ディスカウンターへと業態の垣根を越えた拡がりを見せております。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、お客様に喜ばれる製品・環境や時代にマッチした魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、抗菌・抗ウイルス素材を用いた「ALCLEA(オルクレア)シリーズ」が新たにラインナップされたほか、シリコン素材の動物シリーズ「SMART FIT PuniLabo(スマートフィットプニラボ)シリーズ」や軽やかではじけるイメージの「CUBE FIZZ(キューブフィズ)シリーズ」が新アイテムを拡充させて売上を伸ばしました。

また既存製品では、「ルーパーファイル」、「カラークリヤーホルダー」、「D型リングファイル」等が引き続きご好評をいただきました。

この結果、事務用品等事業は新製品の積極的な投入や、通販及び海外向け売上の増加等により前年同期比増収となりました。

また不動産賃貸事業につきましては、テナントの稼働率が引き続き良好な水準で推移しましたが、コロナ禍の影響で一部テナントから賃料引き下げを求められたことにより、前年同期比若干の減収となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,595百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

利益面につきましては、売上増加の効果に加えて、利益率の高い新製品の販売強化やコスト削減努力に伴う利益率の改善により、営業利益は276百万円(前年同期比7.4%増)、経常利益は305百万円(前年同期比23.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は198百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	1,347	29.3	2.7
バインダー・クリヤーブック	1,125	24.5	10.7
収 納 整 理 用 品	1,441	31.4	0.5
そ の 他 事 務 用 品	451	9.8	15.2
事 務 用 品 等 事 業	4,365	95.0	5.1
不 動 産 賃 貸 事 業	230	5.0	△1.2
合 計	4,595	100.0	4.8

[事務用品等事業]

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は1,347百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は1,125百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

<収納整理用品部門>

ペンケース、机上台、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は1,441百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

＜その他事務用品部門＞

スライドカッター、コンパクトホッチキス、カルテフォルダー、カルテブック等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は451百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は4,365百万円（前年同期比5.1%増）となり、営業利益は191百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

〔不動産賃貸事業〕

不動産賃貸事業は、本社ビルのテナント稼働率が引き続き良好な水準で推移しましたが、コロナ禍の影響で一部テナントから賃料引き下げを求められたこと等により、売上高は230百万円（前年同期比1.2%減）となり、営業利益は84百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ224百万円増加し、13,091百万円となりました。このうち流動資産は受取手形及び売掛金・商品及び製品が減少する一方で現金及び預金が増加したこと等により、合計で158百万円増加しました。また、固定資産は減価償却等により建物及び構築物・機械装置及び運搬具が減少しましたが、時価の上昇により投資有価証券が増加し、合計で65百万円の増加となりました。負債合計は前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、3,174百万円となりました。このうち流動負債は電子記録債務・未払法人税等が増加する一方で支払手形及び買掛金・短期借入金が減少したこと等により、合計で37百万円減少しました。また、固定負債は長期借入金が増加したこと等により、合計で30百万円減少しました。純資産は前連結会計年度末に比べ292百万円増加し、9,916百万円となりました。これは主として、利益剰余金やその他有価証券評価差額金等の増加によるものであり、この結果、自己資本比率は75.8%となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ781百万円増加し2,578百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1,038百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、54百万円となりました。これは主として有形固定資産の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、207百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済、配当金の支払によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、2021年4月9日発表時より変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,797,520	2,578,674
受取手形及び売掛金	1,603,161	1,148,898
電子記録債権	285,623	271,338
商品及び製品	1,821,069	1,650,369
仕掛品	87,153	78,065
原材料及び貯蔵品	492,952	497,258
その他	72,440	92,987
貸倒引当金	△3,687	△2,987
流動資産合計	6,156,234	6,314,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,315,111	2,256,421
機械装置及び運搬具(純額)	189,395	166,058
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	99,318	97,481
有形固定資産合計	5,529,005	5,445,141
無形固定資産	15,091	18,035
投資その他の資産		
投資有価証券	797,995	942,264
その他	374,334	376,808
貸倒引当金	△5,712	△5,712
投資その他の資産合計	1,166,617	1,313,359
固定資産合計	6,710,715	6,776,537
資産合計	12,866,949	13,091,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	322,059	234,023
電子記録債務	200,583	236,176
短期借入金	227,000	201,000
未払法人税等	56,385	105,811
賞与引当金	108,692	110,405
役員賞与引当金	13,460	12,300
その他	410,167	400,724
流動負債合計	1,338,348	1,300,440
固定負債		
長期借入金	524,000	428,000
繰延税金負債	107,587	179,001
役員退職慰労引当金	183,588	181,367
退職給付に係る負債	802,119	796,035
その他	286,951	289,600
固定負債合計	1,904,246	1,874,004
負債合計	3,242,594	3,174,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,446,518	6,560,084
自己株式	△400,992	△401,109
株主資本合計	9,287,387	9,400,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292,533	392,186
繰延ヘッジ損益	19,214	39,378
為替換算調整勘定	62,127	113,442
退職給付に係る調整累計額	△36,908	△29,144
その他の包括利益累計額合計	336,967	515,861
純資産合計	9,624,354	9,916,698
負債純資産合計	12,866,949	13,091,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	4,386,739	4,595,791
売上原価	2,873,079	3,019,959
売上総利益	1,513,659	1,575,832
販売費及び一般管理費	1,256,108	1,299,264
営業利益	257,551	276,567
営業外収益		
受取利息	32	33
受取配当金	10,573	11,840
受取保険金	8,718	10,147
為替差益	—	9,580
雑収入	3,000	4,402
営業外収益合計	22,323	36,003
営業外費用		
支払利息	4,186	2,513
支払手数料	1,621	3,375
為替差損	22,335	—
雑損失	4,612	715
営業外費用合計	32,756	6,604
経常利益	247,119	305,966
特別損失		
固定資産廃棄損	204	218
特別損失合計	204	218
税金等調整前四半期純利益	246,915	305,748
法人税等	73,624	107,341
四半期純利益	173,290	198,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,290	198,407

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	173,290	198,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,929	99,652
繰延ヘッジ損益	△24,595	20,163
為替換算調整勘定	△6,400	51,315
退職給付に係る調整額	7,867	7,763
その他の包括利益合計	△75,057	178,894
四半期包括利益	98,232	377,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,232	377,301
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	246,915	305,748
減価償却費	162,013	151,658
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,236	△700
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38,819	5,102
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,384	△2,221
受取利息及び受取配当金	△10,605	△11,873
支払利息	4,186	2,513
固定資産廃棄損	204	218
売上債権の増減額(△は増加)	594,382	468,546
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,309	200,207
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,192	△54,348
その他	△43,894	△8,868
小計	742,259	1,055,984
利息及び配当金の受取額	10,605	11,873
利息の支払額	△4,203	△2,522
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△45,748	△26,514
営業活動によるキャッシュ・フロー	702,913	1,038,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,147	△44,717
無形固定資産の取得による支出	△656	△5,201
投資有価証券の取得による支出	△650	△676
その他	△4,484	△4,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,937	△54,788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△168,000	△122,000
自己株式の取得による支出	△112	△116
配当金の支払額	△84,574	△84,397
その他	△690	△690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△253,376	△207,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,390	4,325
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	386,208	781,153
現金及び現金同等物の期首残高	1,679,302	1,797,520
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,065,510	2,578,674

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルスの感染症の影響に関する会計上の見積り)の仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,153,868	232,870	4,386,739	—	4,386,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	967	967	△967	—
計	4,153,868	233,838	4,387,706	△967	4,386,739
セグメント利益	166,369	91,182	257,551	—	257,551

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,365,700	230,091	4,595,791	—	4,595,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,025	1,025	△1,025	—
計	4,365,700	231,116	4,596,816	△1,025	4,595,791
セグメント利益	191,707	84,860	276,567	—	276,567

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。